

国語の時間

国語の時間に短歌の学習をしました。有名な歌人のものだけではつまらないので、「現代学生百人一首」(東洋大)を読んだあとみんなで短歌を作り、短冊に清書しました。せっかくなので、文化祭で展示したいと思っています。このところ、二年

読んでみました
生活のうた

生の学習への取り組みが甘い!とか、努力不足だとか、提出物がなかなか出ない!とか、耳の痛い話が多かったのですが、今回の短歌づくりはけっこう良かったです。

自分の気持ちを素直に表現する。自分の生活をありのままに見つめる。「無理せず、飾らず、率直に…」、こういう点は青学年の人々の得意とするところのようです。

また、漢字四級の①～⑩のまとめテストですが、一回目のテストの平均点が45/70で八割に届かず、再テスト。再テストの不合格者は再々テスト。さらに残った生徒に再々再テストをやりました。さすがにこの再々再テストではほとんどの生徒が八割以上を取ることができました。「必死になればなんとかできる」ことがよくわかりました。自分を見つめ、「なんとかしなきゃあだめだ」と追い込んで必要な準備をしっかりとやれば、漢字まとめテストなど恐れることはありません。早く次のまとめテストが来ないかと楽しみです(次は⑪～⑳のまとめテストになります)。

この短歌ですが、今、クラスで読み合い、クラス賞・学年大賞を決めています。次回の学年便りで紹介できるとと思います。

ひとつだけ紹介します。

再テスト次は合格したいから
昨日の夜は徹夜しました

美中ちょっといい話 NO. 2

今回は、2年の学年通信「青い扉」
19号からのちょっといい話です。

(10/12発行)